

平成12年 6月26日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島では、26日18時30分頃から地震が多発している。

震源は島内南西部を中心に分布しており、活発化している。

傾斜計は南部の2点（阿古・坪田）で変化が続いている。

震源分布及び傾斜の変化から考えて、島の南西部へマグマが貫入している可能性が高いが、南東部の可能性も否定できない。

島の南部では噴火に伴う溶岩の流出に対し警戒が必要である。

平成12年 6月27日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は、23時27分頃震度3の地震を観測するなど、活動はさらに活発化している。

震源分布及び傾斜計データによればマグマは山頂の西方～南西方向の山腹に貫入していると考えられる。

山頂の西方～南西方向の地域では噴火に対し警戒が必要である。

平成12年 6月27日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は10時02分にM3.9（暫定）の地震が発生するなど引き続き活発である。震源は昨日から本日にかけ西山腹から西方海域に次第に移動した。震源分布及び傾斜計・GPSデータから見るとマグマは昨夜西山腹に貫入し、本日になって西方海域の地下に移動したと考えられる。また、朝のヘリコプター観測等によれば西海岸の西方約1 km沖で海面に変色水が認められた。

既に海底で噴火が開始した可能性があり、今後噴火が活発化して深さが浅いところで噴火した場合には強い爆発となる可能性もある。なお、西山腹での噴火についても否定できない。

今後も警戒が必要である。